

| (公民的分野) | | 年間指導計画・評価規準・評価計画 | | | | 評価方法 | |
|-------------|------------------------|--|----|---|--|---|----------------------------|
| | | 指導計画 | | | 評価規準 | | |
| 月 | | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | |
| 4 5 6 | 第1章 現代社会と私たち | 1節 現代社会の特色と私たち 2節 私たちの生活と文化 3節 現代社会の見方や考え方 | 13 | <p>○現代日本の特色として少子高齢化, 情報化, グローバル化などが見られることについて理解している。</p> <p>○現代社会における文化の意義や影響について理解している。</p> <p>○現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして, 対立と合意, 効率と公正などについて理解している。</p> <p>○人間は本来社会的存在であることを基に, 個人の尊厳と両性の本質的平等, 契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。</p> | <p>○位置や空間的な広がり, 推移や変化などに着目して, 少子高齢化, 情報化, グローバル化などが政治, 経済, 国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し, 表現している。</p> <p>○推移や変化などに着目して, 文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し, 表現している。</p> <p>○対立と合意, 効率と公正などに着目して, 社会生活における物事の決定の仕方, 契約を通した個人と社会との関係, きまりの役割について多面的・多角的に考察し, 表現している。</p> | <p>○私たちが生きる現代社会と文化の特色について現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p> <p>○現代社会を捉える枠組みについて, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p> | <p>・授業観察</p> <p>・到達度試験</p> |
| 7 | 第2章 個人の尊重と 日本国憲法 | 1節 人権と日本国憲法 2節 人権と共生社会 3節 これからの人権保障 | 16 | <p>○人間の尊重を基本的人権を中心に深め法の意義を理解している。</p> <p>○民主的な社会を営むために法に基づく政治が大切であることを理解している。</p> <p>○日本国憲法が基本的人権の尊重国民民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。</p> | <p>○対立と合意効率と公正個人の尊重と法の支配, 民主主義などに着目して我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意味について多面的・多角的に考察し表現している。</p> | <p>○人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p> | <p>・授業観察</p> <p>・到達度試験</p> |

| | | | | | | | |
|---|-----------------------|--|----|--|--|---|-----------------|
| 8 | 第3章 現代の民主政治と 社会 | 1節 現代の民主政治 2節 国の政治の仕組み 3節 地方自治と私たち | 23 | ○国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みや政党の役割を理解している。 ○議会制民主主義の意義多数決の原理と運用の在り方について理解している。 ○国民の権利を守り社会の秩序を維持するため法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。 ○地方自治の基本的な考え方について理解している。 | ○対立と合意効率と公正個人の尊重と法の支配民主主義などに着目して民主政治の推進と公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察構想し表現している。 | ○民主政治と政治参加について現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 | ・授業観察 ・到達度試験 |
|---|-----------------------|--|----|--|--|---|-----------------|

第1学年社会科（公民的分野）

年間指導計画・評価規準・評価計画

| 月 | 指導計画 | 評価規準 | | | 評価方法 | | |
|----|-----------------------|--|----------|--|---|---|-----------------|
| | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | | | |
| 10 | 第4章 私たちの暮らし と経済 | 1節 消費生活と市場経済 2節 生産と労働 3節 市場経済の仕組みと金融 4節 財政と国民の福祉 5節 これからの経済と社会 | 24 | ○身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。 ○市場経済の考え方について理解している。その際市場における価格の決め方や資源の配分について理解している。 ○現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。 ○勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法について理解している。 ○社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、社会保障の充実、消費者の保護についてそれらの意義を理解している。 ○財政及び租税の意義国民の納税の義務について理解している。 | ○対立と合意、効率と公正、分業と交換などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し表現している。 ○対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現している。 ○対立と合意、効率と公正、分業と交換などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 ○対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 | ○市場の働きと経済について現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ○国民の生活と政府の役割について現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 | ・授業観察 ・到達度試験 |
| 11 | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | |
| 1 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---------------------------|---|----|---|--|---|-------------------------|
| 2 | <p>第5章 地球社会と私たち</p> | <p>1節 国際社会の仕組み 2節 さまざまな国際問題 3節 これからの地球社会と日本</p> | 14 | <p>○世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには国際協調の観点から国家間の相互の主権の尊重と協力各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。その際 領土（領海 領空を含む。）国家主権 国際連合の働きなど基本的な事項について理解している。 ○地球環境資源エネルギー 貧困などの課題の解決のために経済的技術的な協力などが大切であることを理解している。</p> | <p>○対立と合意 効率と公正協調持続可能性などに着目して日本国憲法の平和主義を基に我が国の安全と防衛国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察構想し表現している。</p> | <p>○世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p> | <p>・授業観察 ・到達度試験</p> |
| 3 | <p>終章 より良い社会を目指して</p> | | 4 | | <p>○社会的な見方考え方を働かせ私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的多角的に考察構想し自分の考えを説明論述している。</p> | <p>○よりよい社会を築いていくために解決すべき課題について現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p> | |